

[アスベスト対応]防塵マスク

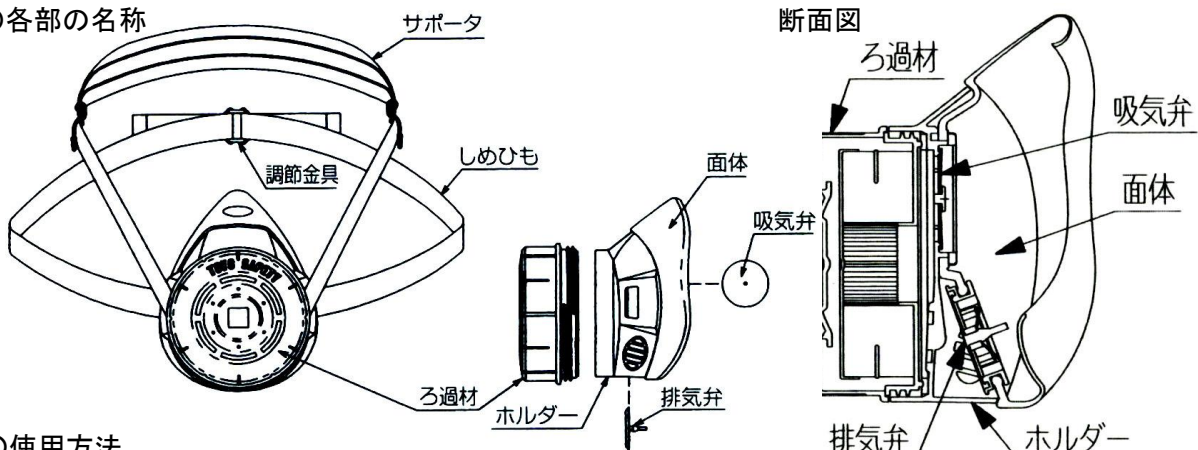
カラー
EA800MA-3 ネイビー
EA800MA-4 ブラック
廃番 EA800MA-5 イエロー

○特長
 ・国家検定合格品 性能区分:RL3
 ・ろ過材にHEPAフィルター使用。
 ・捕集効率が非常に高く、オイルミストなどを捕集捨てても性能は低下しません。
 ・締め紐に、軟質ポリエチレン製の差ポッターを取付、フィット感とサポート性を向上。

○性能 (防塵マスクのランク:RL3)

	防じんマスクの規格 (厚生労働省) EA800MA-3、-4、-	
粒子捕集効率 (DOP)	99.9%以上	99.9%以上
吸気抵抗	160Pa以下	160Pa以下
排気抵抗	80Pa以下	80Pa以下
吸気抵抗上昇値	—	300Pa以下
二酸化炭素濃度上昇値	1.0%以下	1.0%以下
排気弁の作動気密	15秒以上	15秒以上
重量	—	153±5g

○各部の名称



○使用方法

- ① しめひもの調節金具側を首に掛けて下さい。
- ② もう一方のしめひもを頭部に掛けマスクを顔面にフィットさせて下さい。
- ③ マスクが顔面に密着するように、しめひもを調節して下さい。
- ④ 頭部のしめひもを緩め外して下さい。

○使用上の注意



警告 防じんマスク本来の機能を発揮するために下記の事項をお守り下さい。下記の事項を守らないと、死亡もしくは重症に至る可能性が高くなります。

- ① 労働衛生に関する知識、経験を有する者を作業場毎に管理責任者に選任し、適正な着用、取り扱い方法等について指導を行わせるとともに適正な保守、管理に当たらせて下さい。
- ② 使用前に本品が使用用途に適合しているか、確認して下さい。
- ③ マスク装着後、フィットテストを必ず行い、また、作業中も随時フィットテストを行い、漏れがないようにして下さい。
- ④ 漏れが生じるので、タオルなどを当てた上からマスクを着用しないで下さい。
また、ひげ、もみあげ、前髪等がマスクと顔面の間に入り込んだ状態で使用しても漏れが発生します。
- ⑤ 面体や部品が変形しますので高温や高熱作業場所での使用は避けて下さい。
- ⑥ 息が苦しくなった時、粉じんの漏れ込みを感じた時、アレルギー等で皮膚に異常を感じた時、部品が破損した時は、直ちに、作業を中止し、安全な場所でマスクを外して下さい。
- ⑦ ろ過材に付着した粉じん等の除去のために、水洗いする、強く叩く、エアーで吹く等必要以上の力を加える行為は絶対にしないで下さい。(ろ過材が損傷し、機能が発揮できません。)
- ⑧ グライNDER作業、溶接作業等で火花、スパッタ等がろ過材に当たらないようにして下さい。(ろ過材が損傷し、機能が発揮できなくなり、大変危険です。)
- ⑨ 改造は絶対しないで下さい。

防塵マスクの規格について

防塵マスクとは、厚生労働省の国家検定試験に合格した粉塵（ふんじん）作業に使用する呼吸用保護具のことをいいます。

厚生労働省は、平成12年9月1日に防塵マスクの規格の改正を行いました。

この改正を受けて、検定試験はより厳しい条件内容になりました。

防塵マスクは12種類に分類されています。

作業の内容や粉じんの種類により使用する防塵マスクの区分が定められたのです。

つまり、マスクの使い分けを、作業の内容に応じて必要になったということです。

防塵マスクには、使い捨て防塵マスクと取替え式防塵マスクの2種類に分類できます。

さらに、対象となる粒子の性状により、固体粒子専用と固体・液体粒子兼用の防塵マスクに分けられます。

- 使い捨て防塵マスク：DS1、DS2、DS3、DL1、DL2、DL3 の6種類。
- 取替え式防塵マスク：RS1、RS2、RS3、RL1、RL2、RL3 の6種類。

使われている記号には以下の意味があります。

D：使い捨てマスク

R：取替え式マスク

S：試験粒子に固体粒子を使用するときに着用するマスク

L：試験粒子に液体粒子を使用するときに着用するマスク

数字は粒子捕集効率による区分を示しており、3段階に分類されています。

区分3：最も捕集効率の高いもの

区分2：中間

区分1：低いもの

放射性物質がこぼれた時など汚染の恐れがある作業や、ダイオキシン類のばく露(ダイオキシンのある状況にさらされること)の恐れのある作業に使用する場合…RS3、RL3。

アスベストなど細かい粉塵がある場所で使用する場合…DS2、DS3、DL2、DL3、RS2、RS3、RL2、RL3。

オイルミストなどがある場合・・・Lの区分を選ぶことになります。

一般粉塵作業では12種類の中から作業環境に応じてマスクを選ぶこととなります。

このように、防塵マスクは様々な環境に対応できるように規格が定められています。

その環境に合った防塵マスクを使用することが必要となります。

アスベストと防塵マスクについて

アスベストは天然の鉱物繊維で、非常に細く、そして熱や薬品に対してもとても強い繊維です。

しかも、価格も安いので、断熱材や保温材などの目的で、広く使われてきました。

しかし、現在ではその有害性が問題になり、アスベストによる被害防止のため、原則アスベストの使用は禁止されています。

アスベストは肺線維症（じん肺）、悪性中皮腫の原因になるといわれています。

肺がんを起こす可能性があるということです。

中皮腫の発症は、アスベストを吸い込んですぐ発症するのではなく、30～40年後に発症するとされています。

アスベストを吸い込んだ人すべてが中皮種になるわけではありません。

しかし、今のところ、どの程度アスベストを吸い込んだら中皮腫になるといったことは不明です。

現在では、アスベストの被害を防ぐため、労働安全衛生法や大気汚染防止法などで建物の解体等について

厳しい規制がなされています。

作業にあたる人は取替え式の防塵マスクなどが必要で、アスベスト対策用の呼吸用保護具を装着しなければなりません。

アスベストの粉塵を吸入しないために、マスクは正しく装着する必要があります。

また、その作業のレベルに応じたマスクの選択が必要となります。

防塵マスクをはじめとする呼吸用保護具は、体を守るためにとても大切なものなのです。